

2022.1.25 発行

カリタス大船渡ベース 地ノ森いこいの家

大船渡だより No.97

地域のイベント

今年こそ。今年こそは、良い年に！！

大船渡ベースは12月25日で年内の活動を終了し、年末年始のお休みに入りました。教会では26日のミサの中で、4歳の女の子の洗礼式があり、皆で祝福しました。

例年より寒さの厳しい年末で、12月26日、27日には雪が降り積もり、町中が雪化粧をしました。27日には盛町の詰め市が開催されましたが、雪のため客足は今一つ…。

大晦日の夜にはベース近くの西光寺から除夜の鐘が聞こえ、日付が変わり新年を迎えてすぐ外に出てみると、少し風が吹いていましたが、星空が広がり、大船渡港に入港していた大型船の汽笛が鳴り響きました。穏やかな年明けでした。新型コロナウイルス感染症が収まり、今年こそ良い年であってほしいと願いました。



元旦は曇り空。冷たい風が吹くなか、毎年恒例の『地ノ森権現』が各家々を回り、家内安全、無病息災、疫病退散を願いました。

1月1日は午後2時から、2日は午前10時から教会でミサがあり、新年を祝いました。コロナ禍前のミサ後にあった新年の祝賀会は、残念ながら今年も自粛することにしました。

ベースは1月5日から活動を開始しました。感染予防対策をしっかりと、今年も地域の方々に寄り添っていきたいと思っています。



活動紹介

贈り物にニッコリ

12月中旬から、在宅訪問の際にクリスマスプレゼントのクッキーをお届けしました。

皆さんいつも変わらずの笑顔で対応してくださいましたが、クッキーの赤いかわいい箱を受け取ると、そのお顔をかわいいと言ったら失礼かもしれません、何とも言えない笑顔になり、お届けしているこちらも幸せな気持ちになりました。



活動紹介

十人十色、ベースの干し柿

気仙地方では、昔から『小枝柿』という柿が栽培され、干し柿として愛されてきました。

小枝柿の特徴は「種が入りにくい」ことで、そのむかし、気仙地方を訪れた弘法大師に地域の方が柿を恵んで差し上げ、そのことに感謝した大師が、この地の柿を種なしにしてくれたという逸話があるそうです。気仙以外の地域でその苗木を栽培しても、種のある柿になってしまふとか。不思議ですね。

11月に始まったベースでの干し柿作りは、収穫・皮むき・乾燥を経て、12月上旬に食べ頃をむかえました。さっそく味見をと、一口パクリ。同じ柿の木から収穫したのに干し加減によってか驚くほど味が違ひ、「これは酸味があってフレッシュ!」、「こっちは黒糖みたいに甘い!」などと言いながら、今年の大船渡ベース産干し柿の味を堪能しました。



ベースからのお知らせ

●カリタスみちのく～つないだ10年、つながるこれから～

インターネットで『カリタスみちのく』を検索していただくと、カリタスベースや小教区の有志グループ同士の情報共有、情報発信を行なっているページをご覧いただけます。

●カリタス絵手紙の輪

… 随時参加者を募集しています。

●被災地見学のご案内

… 県内にお住まいの方へご案内をいたします。

※詳しくはお問い合わせ下さい。

大船渡市の中心地の様子(2022/1/11 撮影)



ボランティア登録者数

男性 678人
女性 1391人
⇒ 合計 2069人

◆12月1日～12月31日 ボランティア数

男 性：0名
女 性：0名

新型コロナウイルス感染予防のため、当分の間、ボランティアさんの受け入れを中止とさせていただきます。

2021年12月1日～31日の活動紹介

引き続きコロナウイルス感染拡大に留意しながら活動しています。その為、今年は毎年恒例のクリスマス会を行わず、さびしいクリスマスとなりました。活動の様子はブログやFacebookで紹介しています。

- 7日(火) ファミリーサポート 子ども預かり
- 9日(木) 上山東アパートサロン 木の実アート作り
- 13日(月) カリタス釜石サロン パステル絵手紙・木の実アート作り
- 17日(金) 元気度アップ教室
- 23日(木) カリタススマホ教室

● 在宅訪問…材料を持参して訪問先でリースやブローチ、人形などを作りました。

<定期活動>

- | | |
|---------------------|------------|
| ・水 / 土曜日 買物送迎 | <その他> |
| ・水曜日 手芸サロン | ・外国人支援 |
| ・木曜日 パステル絵手紙 | ・個人依頼 |
| ・土曜日 小・中学生のための英語学習会 | ・カリタス工房 |
| | ・カリタス絵手紙の輪 |